

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1490900089	事業の開始年月日	平成19年8月1日	
		指定年月日	平成19年8月1日	
法人名	医療法人社団 裕正会			
事業所名	グループホーム ウェルケアSun			
所在地	( 223-0058 ) 横浜市港北区新吉田東8-20-33			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護  <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	平成21年12月20日	評価結果 市町村受理日	平成22年4月5日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>「大切な人だから・・・」の法人理念。「今出来る充実感のある日常の援助」のSunの今年度目標に則り、利用者様一人ひとりと向き合い、ホームでの集団生活を営みつつ、個人個人の訴えを出来るだけ実施できるよう援助してまいります。団体行動として実施したズーラシア見学、ショッピングセンターへの買い物・食事もほぼ個別対応をし、個人個人ご自分に合った楽しみ方をされました。時には銭湯や釣り堀に出かけたり、花を買いに行ったり個別対応もしています。今後も、今までやりたくても出来なかった事が実現できた時の利用者様の笑顔でいっぱいのホームになる様職員一同努めてまいります。</p>
--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	平成22年1月13日	評価機関 評価決定日	平成22年3月20日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>◇優れている点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同一法人の介護老人保健施設が1キロ程度の近距離にあり、そこから、看護師の週1回来訪による健康相談、及び、同施設から機能訓練士及び音楽療法士が派遣され利用者の機能訓練や歌によるリハビリテーションが行われている。医師は提携医療機関やまびこクリニックから月2回の訪問診療を受けている。</li> <li>・医療連携体制加算の指定を受け、24時間安心して医療を受診する体制が整っている。</li> <li>・個人の尊厳を大切にし、家庭的なゆとりのある生活を支援している。利用者は日常的に買い物、散歩へ出掛け、寿司の外食、ズーラシア動物園見学、新春・新緑コンサート、夏には流しそうめんを楽しみ、広い浴槽を希望すればスーパー銭湯に行く等個人の希望の実現に努め、温かい雰囲気の中で安心して生活している。</li> <li>・運営法人は人材育成を積極的に行い、当事業所の職員も毎月1回テーマとねらいを掲げた研修を受講している。</li> </ul> <p>◇工夫点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族に、利用者の食事、排泄、入浴、睡眠等の健康・生活状態を、居室担当者が手書きで毎月詳細に知らせている。</li> <li>・衛生管理表を作成し、布巾、包丁、まな板の消毒を毎日実施し、O157などの予防に努めている。</li> </ul>
---

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1～14	1～7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15～22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23～35	9～13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36～55	14～20
V アウトカム項目	56～68	

事業所名	グループホーム ウェルケア Sun
ユニット名	ユニット 2

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「大切な人だから」の想いを尊重しつつ、地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えている。職員全体に理念を浸透させ親に対する様に尊厳の念を持って接するよう心掛けている。	・法人の理念に加え、職員が皆で決めた平成21年度目標「今できる充実感のある日常の援助」を掲げ日々具現化に努力している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地元の理美容室を利用したり、農家の方に野菜を分けて頂き談話したり、地域の祭り、運動会に参加をし交流に努めている。	・町内会に加入し、利用者が外出時には近隣の方と挨拶を交わしている。 ・地元の小学校の運動会に参加し、夏祭りには駐車場を神輿の休憩所に貸与している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	介護老人保健施設ウエルケア新吉田の勉強会に参加し認知症への理解、救急救命講習、AEDの使用方法など知識の向上に努めている		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にて利用者様の状況、サービス提供の状況の報告をしサービスの評価・要望・助言を頂きながら改善に努めている。	・運営推進会議は年2回開催している。 ・会議では、事業所の運営状況や活動内容を報告後、意見交換して、理解と支援を得てサービスの向上に反映している。	・運営推進会議は、隔月開催を目標として、逐次、開催の頻度を増やすことを期待します。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	港北区福祉保健センターと連携しケースワーカーと協力し介護保険制度利用者の個別案件を話し合い制度の円滑運用に努めている。	・管理者は港北区役所サービス課へ事業所の運営や現場の実情、問題点を報告し助言を仰いでいる。 ・横浜市グループホーム連絡会に参加し、情報交換や交流を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束ゼロの勉強会へ積極的に参加し理解を深めている。本人の生活状況を職員は把握し、安全な生活を提供している。	・職員は「身体拘束をしない実践」について勉強し理解に努めている。 ・玄関は、安全面の確保から施錠し、平成21年12月の家族会で同意を得ている。居室は施錠していない。	・利用者が、玄関脇の椅子に腰掛け日光浴時は開錠しています。見守りやさりげない声かけ等を工夫し、今後少しずつ施錠しない時間を増やす工夫が望まれます。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	文献等は職員に配布している。複数の職員が業務を共有し虐待があれば注意しあえる環境にある。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	文献は職員に配布しているが学ぶ機会を持っていない制度についてより深く学ぶ機会を作り今後制度の必要である方を知り対応できるようにしていく。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明書、契約書に分かりやすく権利義務を明示し入居する前の面接及び入居時に十分時間を取って説明し、本人および家族の同意を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	職員は利用者様との対話を多く持つよう心掛け話の内容により、カンファレンスを行い状況によって改善に努めている。	・苦情相談窓口は、重要事項説明書に明記し、契約時に説明している。 ・玄関フロアには、ご意見箱があり、家族来訪時には意見や要望を聞いて運営に反映している。	

ウエルケアSun

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見を聞き必要に応じて話し合いをし、改善に努めている。月に1回ホーム会議を行い意見交換をしている。	・管理者は、月1回のホーム会議で日常業務の改善について職員の要望・意見を聞き業務に反映している。 ・職員は法人の近隣3グループホーム合同勉強会に参加している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	利用者様を取り巻く環境に合わせて職員と話し合いののち勤務の調整を行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人は母体の老健で研修を行っている。法人内のGH管理者会議が勉強の場となっている。希望者は内外の研修に参加する機会を増やしスキルアップを図る努力をしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	横浜市グループホーム連絡会に参加している。法人内の3か所のグループホームの勉強会を通じて日頃の業務について意見交換をしている。管理者同士のネットワークが出来ている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	書類だけでなく本人の話や様子を見た上で、日々少しずつ信頼関係を深め、訴えがなくても気づく目を持つよう努力している。		

ウエルケアSun

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所面接時、家族の疑問に答え、本人と家族の想いにそった援助を共に考えホームで出来ることは何かを話し合っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	グループホームの説明をし利用者家族の要望と合っているかの話し合いを持っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護しているではなく出来ないところはお手伝いするという気持ちで対応している為、いろんな事を手伝って頂いていることもある。ただ様子観察をし負担にならないようにしている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御本人・家族・職員というトライアングルは築けていない。共に支え合う関係が築けたら御本人に良いと思う。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族や友人が訪ねてきやすい環境であるよう努めていて、ほとんどの家族が関わりを継続している。場所に関しては関係が途切れている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者は家族と一緒に昔なじみの商店街や喫茶店に行くことがある。</li> <li>・利用者の知人が来訪し、知人宅へ外出もする。</li> <li>・利用者の中には家族の命日に墓参に行く方もいる。</li> </ul>	

ウエルケアSun

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が間に入り、お互いが支え合い、関わりあえる様に支援している。時には、遠くから見守り、お互い同士どのお互いにおりあいをつけるか任せる時もある。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	特別養護老人ホームへ入所された方がいるがその後の様子家族からの相談等もあり、関係性を大切にしている。		
III 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	自分の意思をしっかりと伝えられる方は問題ないが、そうでない方は、たぶん・だろうと予測して対応している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は日常の会話の中や一人ひとりの行動や表情、しぐさから希望や意向を汲みとるように努めている。</li> <li>・コミュニケーションがとり難い人には、夜間の静かな時間帯や居室で話を聞いている。</li> </ul>	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時の聞き取り等の書類で把握している。その他の情報は、本人・家族より話を聞き情報の密度を濃くしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	過ごし方の把握は大雑把だが心身状態の変化等は見逃しがちなよう把握に努め、早い対応が出来るよう心掛けている。		

ウエルケアSun

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様ごとに担当を決め、他職員との情報交換を行いながらケアプランの作成やカンファレンスを行いより良い生活が提供出来るよう努めている。	・アセスメントで本人や家族が望むことを把握し、居室担当者中心のカンファレンスをもとに、主治医の所見や家族意見をを斟酌して作成している。 ・通常6か月毎に見直し、現状に即したものとしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者様の生活の様子等職員間の情報、記録を見ながらケアプラン、カンファレンスを行い、利用者様にあったプランを作成している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様のケアプランに基づき、無理なく出来ることは行って頂き、毎日の生活が良く過ごせるよう対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	社会福祉協議会に依頼し、ボランティアに来て頂いている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎月定期的に医師の訪問診療を行っており、安心して受診できるよう医療機関との連携が取れている。	・本人や家族の希望により、かかりつけ医による医療を継続して受診出来るように支援している。 ・医療情報は個人別に受診記録に記入し、職員および家族との間で共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師の定期訪問時、個々の利用者様の状態等報告し指導を受けている。急変時等24時間体制で対応してもらえる体制を取っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者様が安心して入院治療が出来るよう協力医療機関と契約をしている。協力医療機関の母体の病院には受診・入院時利用者様の医療面の情報が提供されるようになっている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合における対応に係わる指針を定め入居時に説明・同意を得ている本人・家族・医師・看護師介護者が共通したケアの考え方をもち連携を取りながら支援していく。	・入所時に重度化における医療処置の対応の限界を説明し、家族の同意を得ている。 ・急変時は主治医と看護師、家族、職員が連携し最善の方法を採る方針を関係者間で共有している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応の勉強会を実施し、医師・看護師の講義説明を受けたのち、実技指導も実施している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の建物等の点検、職員の消防訓練を実施している。	・防災・避難訓練は消防署の協力を得て年2回実施し、避難経路も確認している。 ・運営推進会議を通じて地域の方の協力体制を呼びかけている。非常用の飲料水は備えている。	・今後、災害時に地域の協力体制が得られるような取り組みの進展を期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様は皆様が人生の大先輩であり、丁寧な言葉づかいに注意し、又伺ったお話について他の利用者様や職員に話して良いこと、悪いことについて十分留意するよう心掛けている。	・理念に掲げる「大切な人だから」の実践に向けて一人ひとりの人格を尊重し、敬いの気持ちを大切に接している。 ・不適切な場面を見受けた際は、職員間で注意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	前もって皆様にスケジュールをお知らせする。又予めお一人ずつの希望を伺ってからその希望に沿うように心がける。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ふだんから利用者様とのコミュニケーションをなるべくとるように心掛け、お1人ずつの気持ちに沿うようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	新しい洋服、髪型にされた時等すぐ気付いてそのことを話題にして、自信を持って頂けるようにしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	配膳、食事、後片付け等を利用者と楽しんで出来るように、コミュニケーションを取り、又「いつも手伝って下さってありがとうございます」という感謝の気持ちを表すようにしている。	・本人の意向や能力に配慮し、できる人は食事の準備、配下膳・食器洗いをしている。 ・職員は食事を一緒にしながら、お手伝い頂いたことに感謝の言葉を告げている。	

ウエルケアSun

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	小食の方には8分目位の量を盛り付け「全部食べられた」と満足感を持って頂く。好きな飲み物の温度、量等一人ずつ嗜好に合うよう調整する。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自立の方は見守り、一部介助の方は職員が声掛けし、出血・痛みなど確認しながら行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者様一人ずつの排泄パターンやサインに早く気づくようにし定時誘導も行う自立の方には「良かったですね」「すっきりしましたね」等肯定的な言葉掛けをしている。	・排泄一覧表を活用し、定時、サインに留意しトイレでの排泄の誘導をしている。誘導は他の人に気づかれないようにさりげなく行っている。 ・排泄の自立支援でオムツが外れた事例もある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取を心掛け、嗜好を知り水分を多く取れるようように努める。1日に1度は体を動かす軽い体操を促し、散歩・レクリエーションも取り入れる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	事前に希望を伺い出来るだけ希望に沿うようにしている。拒否の時は無理強いせず湯温の調節好みに留意して「気持ちよかった」と言って頂けるように介助する。	・入浴は原則週2回で、更に入浴を望む方には応じている。中には銭湯に出かける方もいる。 ・入浴を嫌がる方には、声かけの職員を変えたり、「気持ちよいいよ」などと声かけと誘導を工夫している。	

ウエルケアSun

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	午睡や体調に合わせた臥床に心掛け、職員の都合になってしまわないように気を付けている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書などを読み、どのような持病があるか把握するようにしている。薬は職員管理とし確実な与薬を心掛けている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	嗜好品、楽しみごと等は徐々に見つけているが、利用者様全員の生活には組み込めていないので、今後も努力していきたい。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ホーム近くの外出であれば利用者様の様子に応じて、出来る限り希望に沿うようにしている。	・散歩好きな方が多く、コースを決めて天気の良い日は出かけることが多い。 ・行事の外出は、食べ物、見たい所など個別対応に配慮し、車椅子の方も散歩や行事に参加している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者様の希望や能力に応じた対応を工夫している。ご自分でお小遣いをお持ちの利用者様もいらっしゃいます。		

ウエルケアSun

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば御本人の様子に応じて対応している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	壁に写真を貼るなど季節感のあるディスプレイなどをして、楽しんで頂けるようにしている。	・共用空間は清潔で、床暖房や加湿器を設け、照明、防音に工夫し、居心地よく過ごしている。 ・季節の写真を飾り、季節感を採り入れている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人になれる場所は居室となってしまうがちだが、居間は利用者様同士で楽しく過ごせる空間になっている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具をお持ちいただき御本人に合った居室になっている。今後も今より快適に生活できるよう工夫していく。	・各居室には使い慣れた家具類、テレビ、家族や思い出の写真、仏壇を持ち込み、居心地よく過ごしている。 ・各居室には乾燥対策として加湿器を設置し、職員による窓開けなど換気にも配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーで安全な環境となっている。トイレ表示や今月の予定等貼りだしている。今後は出来ることをたくさん生かせる環境を工夫していく。		

事業所名	グループホーム ウェルケア Sun
ユニット名	ユニット 1

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

ウエルケアSun

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「大切な人だから」の想いを尊重しつつ、地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えている。職員全体に理念を浸透させ親に対する様に尊厳の念を持って接するよう心掛けている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地元の理美容室を利用したり、農家の方に野菜を分けて頂き談話したり、地域の祭り、運動会に参加をし交流に努めている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	介護老人保健施設ウエルケア新吉田の勉強会に参加し認知症への理解、救急救命講習、AEDの使用方法など知識の向上に努めている		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にて利用者様の状況、サービス提供の状況の報告をしサービスの評価・要望・助言を頂きながら改善に努めている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	港北区福祉保健センターと連携しケースワーカーと協力し介護保険制度利用者の個別案件を話し合い制度の円滑運用に努めている。		

ウエルケアSun

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束ゼロの勉強会へ積極的に参加し理解を深めている。本人の生活状況を職員は把握し、安全な生活を提供している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	文献等は職員に配布している。複数の職員が業務を共有し虐待があれば注意しあえる環境にある。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	文献は職員に配布しているが学ぶ機会を持っていない制度についてより深く学ぶ機会を作り今後制度の必要である方を知り対応できるようにしていく。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明書、契約書に分かりやすく権利義務を明示し入居する前の面接及び入居時に十分時間を取って説明し、本人および家族の同意を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	職員は利用者様との対話を多く持つよう心掛け話の内容により、カンファレンスを行い状況によって改善に努めている。		

ウエルケアSun

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見を聞き必要に応じて話し合いをし、改善に努めている。月に1回ホーム会議を行い意見交換をしている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	利用者様を取り巻く環境に合わせて職員と話し合いののち勤務の調整を行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人は母体の老健で研修を行っている。法人内のGH管理者会議が勉強の場となっている。希望者は内外の研修に参加する機会を増やしスキルアップを図る努力をしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	横浜市グループホーム連絡会に参加している。法人内の3か所のグループホームの勉強会を通じて日頃の業務について意見交換をしている。管理者同士のネットワークが出来ている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	書類だけでなく本人の話や様子を見た上で、日々少しずつ信頼関係を深め、訴えがなくても気づく目を持つよう努力している。		

ウエルケアSun

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所面接時、家族の疑問に答え、本人と家族の想いにそった援助を共に考えホームで出来ることは何かを話し合っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	グループホームの説明をし利用者家族の要望と合っているかの話し合いを持っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護しているではなく出来ないところはお手伝いするという気持ちで対応している為、いろんな事を手伝って頂いてることもある。ただ様子観察をし負担にならないようにしている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御本人・家族・職員というトライアングルは築けていない。共に支え合う関係が築けたら御本人に良いと思う。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族や友人が訪ねてきやすい環境であるよう努めていて、ほとんどの家族が関わりを継続している。場所に関しては関係が途切れている。		

ウエルケアSun

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が間に入り、お互いが支え合い、関わりあえる様に支援している。時には、遠くから見守り、お互い同士どのお互いにおりあいをつけるか任せる時もある。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	特別養護老人ホームへ入所された方がいるがその後の様子家族からの相談等もあり、関係性を大切にしている。		
III 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	自分の意思をしっかりと伝えられる方は問題ないが、そうでない方は、たぶん・だろうと予測して対応している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時の聞き取り等の書類で把握している。その他の情報は、本人・家族より話を聞き情報の密度を濃くしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	過ごし方の把握は大雑把だが心身状態の変化等は見逃さないよう把握に努め、早い対応が出来るよう心掛けている。		

ウエルケアSun

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様ごとに担当者を決め、他職員との情報交換を行いながらケアプランの作成やカンファレンスを行いより良い生活が提供出来るよう努めている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者様の生活の様子等職員間の情報、記録を見ながらケアプラン、カンファレンスを行い、利用者様にあったプランを作成している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様のケアプランに基づき、無理なく出来ることは行って頂き、毎日の生活が良く過ごせるよう対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	社会福祉協議会に依頼し、ボランティアに来て頂いている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎月定期的に医師の訪問診療を行っており、安心して受診できるよう医療機関との連携が取れている。		

ウエルケアSun

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師の定期訪問時、個々の利用者様の状態等報告し指導を受けている。急変時等24時間体制で対応してもらえる体制を取っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者様が安心して入院治療が出来るよう協力医療機関と契約をしている。協力医療機関の母体の病院には受診・入院時利用者様の医療面の情報が提供されるようになっている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合における対応に係わる指針を定め入居時に説明・同意を得ている本人・家族・医師・看護師介護者が共通したケアの考え方をもち連携を取りながら支援していく。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応の勉強会を実施し、医師・看護師の講義説明を受けたのち、実技指導も実施している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の建物等の点検、職員の消防訓練を実施している。		

ウエルケアSun

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様は皆様が人生の大先輩であり、丁寧な言葉づかいに注意し、又伺ったお話について他の利用者様や職員に話して良いこと、悪いことについて十分留意するよう心掛けている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	前もって皆様にスケジュールをお知らせする。又予め一人ずつの希望を伺ってからその希望に沿うように心がける。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ふだんから利用者様とのコミュニケーションをなるべくとるように心掛け、お1人ずつの気持ちに沿うようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	新しい洋服、髪型にされた時等すぐ気付いてそのことを話題にして、自信を持って頂けるようにしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	配膳、食事、後片付け等を利用者と楽しんで出来るように、コミュニケーションを取り、又「いつも手伝って下さってありがとうございます」という感謝の気持ちを表すようにしている。		

ウエルケアSun

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	小食の方には8分目位の量を盛り付け「全部食べられた」と満足感を持って頂く。お好きな飲み物の温度、量等一人ずつ嗜好に合うよう調整する。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自立の方は見守り、一部介助の方は職員が声掛けし、出血・痛みなど確認しながら行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者様一人ずつの排泄パターンやサインに早く気づくようにし定時誘導も行う自立の方には「良かったですね」「すっきりしましたね」等肯定的な言葉掛けをしている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取を心掛け、嗜好を知り水分を多く取れるようように努める。1日に1度は体を動かす軽い体操を促し、散歩・レクリエーションも取り入れる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	事前に希望を伺い出来るだけ希望に沿うようにしている。拒否の時は無理強いせず湯温の調節好みに留意して「気持ちよかった」と言って頂けるように介助する。		

ウエルケアSun

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	午睡や体調に合わせた臥床に心掛け、職員の都合になってしまわないように気を付けている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書などを読み、どのような持病があるか把握するようにしている。薬は職員管理とし確実な与薬を心掛けている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	嗜好品、楽しみごと等は徐々に見つけているが、利用者様全員の生活には組み込めていないので、今後も努力していきたい。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ホーム近くの外出であれば利用者様の様子に応じて、出来る限り希望に沿うようにしている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者様の希望や能力に応じた対応を工夫している。ご自分でお小遣いをお持ちの利用者様もいらっしゃいます。		

ウエルケアSun

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば御本人の様子に応じて対応している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	壁に写真を貼るなど季節感のあるディスプレイなどをして、楽しんで頂けるようにしている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人になれる場所は居室となってしまうが、居間は利用者様同士で楽しく過ごせる空間になっている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具をお持ちいただき御本人に合った居室になっている。今後も今より快適に生活できるよう工夫していく。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーで安全な環境となっている。トイレ表示や今月の予定等貼りだしている。今後は出来ることをたくさん生かせる環境を工夫していく。		

## 目標達成計画

事業所名 高齢者グループホーム ちとせ作成日 平成22年3月26日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の開催頻度が4ヶ月に一度となっている。	運営推進会議の開催頻度を向上させる。	会議の開催日時や方法について意見を募り、参加しやすい会議となるよう検討を進める。	1年
2	26	介護計画のプロセスがホーム全体に浸透できていない。	チーム全体で介護計画のプロセスに関わり、現状に沿った介護計画の作成が図れる。	アセスメントやモニタリングを個々のスタッフが行うことができるよう、研修を行う。また、そのための仕組みを構築する。	1年
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。